



# 株式会社HEROIC

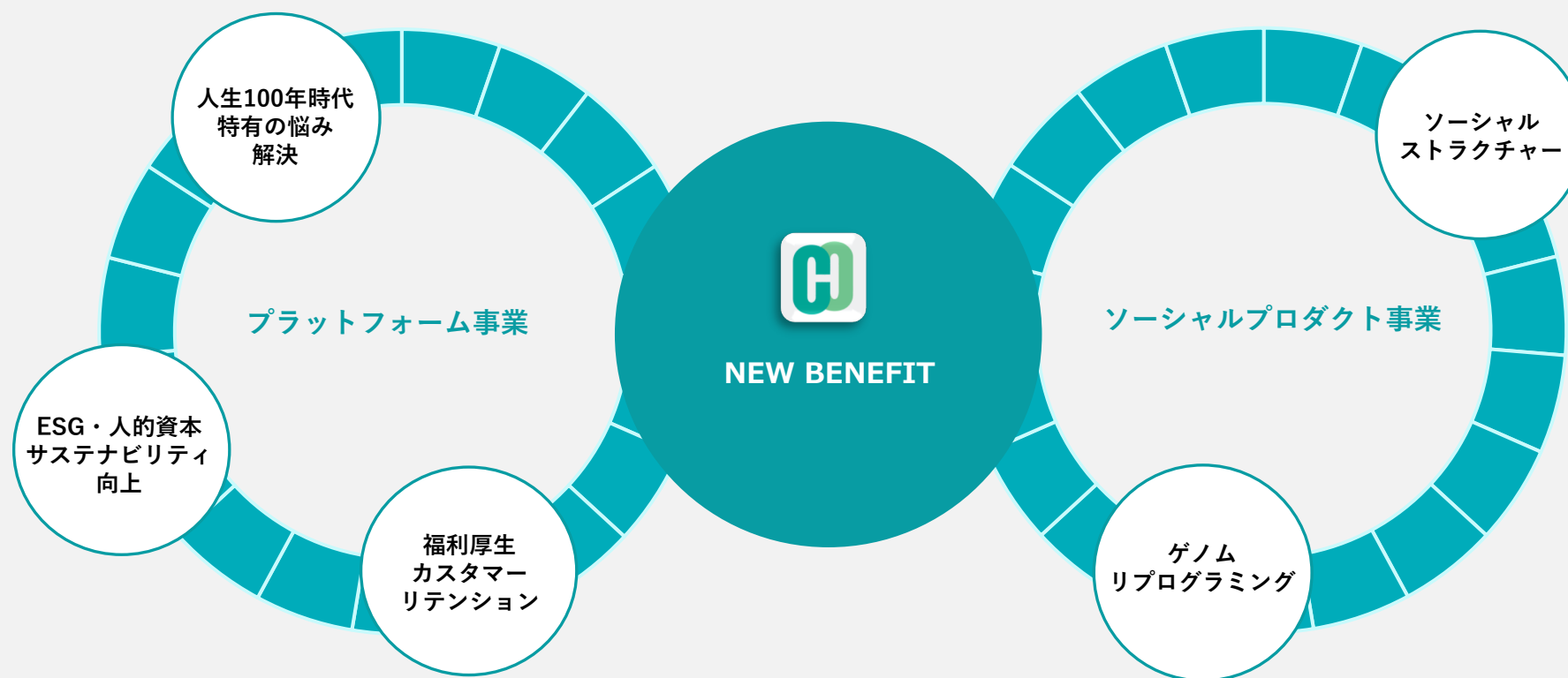
2024年7月 当社事業理解のために

ヒロイックは、「本人家族の幸せに対する意欲を高め、超高齢社会問題に対応する」をパーパスに掲げテクノロジーと専門資格者企業の複合による高価値を提供（NEW BENEFIT）し、社会・企業課題の解決を図っております。

## 事業概要

### PURPOSE

本人家族の幸せに対する意欲を高め、超高齢社会問題に対応する



# 成長戦略

各事業の強化に加え、セグメント間での継続的なシナジー創出により成長を加速

## プラットフォーム事業

生活上のリスク最適化・企業の社会課題解決



データ・知見の蓄積による周辺サービスの展開



ユーザー数拡大とユーザー持続



## ソーシャルプロダクト事業

新規ソーシャルストラクチャーの開発提供



データ・アルゴリズム・知見を蓄積



他業界のプレイヤーに展開し、社会課題を解決

# 市場規模

## プラットフォーム事業・ソーシャルプロダクト事業群と市場規模

- ・「企業価値」判断情報、とりわけ非財務情報やサステナビリティ関連情報の開示について企業は、自社の戦略を構築するとともに開示基準の動向に目を配りながら検討することが求められる。
- ・人的資本に係る情報開示の在り方について示した「人的資本可視化指針」が内閣官房非財務情報可視化研究会で、2022年8月成案公表。
- ・ESG投資の高まり、企業価値の在り方に関する多様な捉え方を受け国際的な非財務情報開示基準に関する議論も活発化。

- ・ウェルビーイング関連市場はGlobal Well-being Instituteによると約400兆円と試算されており今後大きな成長が見込まれている。  
また、黎明期であることから高リターンを見込んだ投資が急増。

- ・エイジテックの市場規模は今後拡大し続け、2025年には約300兆円の市場規模。  
# シニア市場2025年101.3兆円  
(みずほコーポレート銀行産業調査部予測)

### プラットフォーム事業

- ・近年、後見類型偏重傾向の是正（特に補助と任意後見の利用推進）を促す施策が進む。
- ・本人意思の尊重の観点から最も望ましいとされる任意後見の利用の是正をさらに進む。

- ・身元保証人が確保できず高齢者が不利益を被るケースが後を絶たない。
- ・身元保証人を求める慣行や現行システムは時代に即したものとはいえない。

- ・成年後見制度利用人口約25万人、潜在的な後見ニーズの総数：推計およそ1000万人のわずか2%

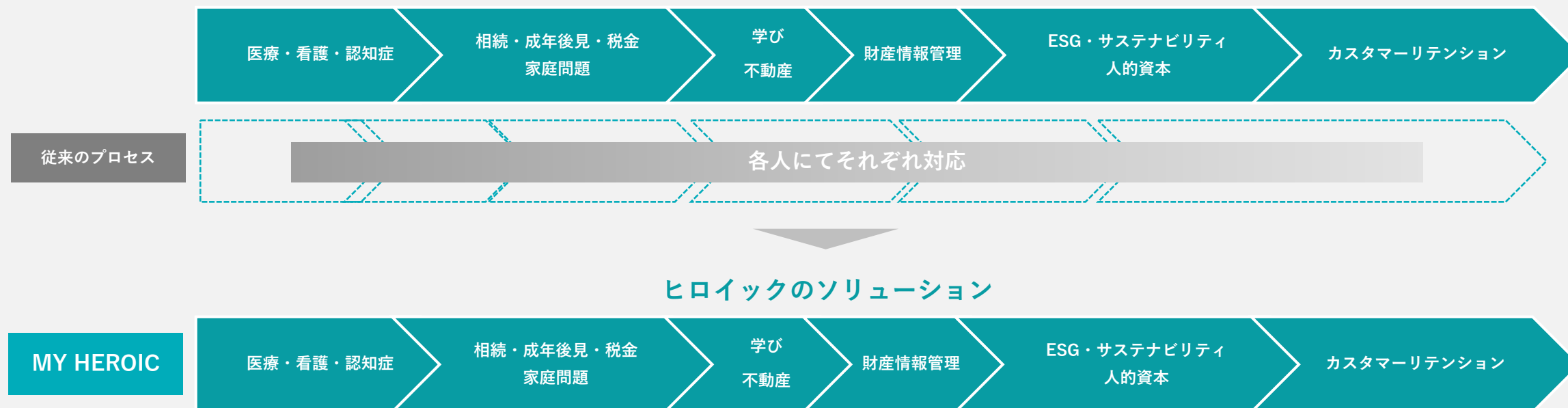
- ・身元保証人を確保できない高齢者は、20年後には1,000万人と全体の4分の1にまで増加。

### ソーシャルプロダクト事業

# プラットフォーム事業

## 1 特徴と優位性

### 01 オールインワン型プラットフォーム「MY HEROIC」により、社員家族顧客の超高齢者社会特有の悩みをサポート



当社のプラットフォーム事業では、社員家族顧客の悩みの特定から実際のサービスの実装までのプロセスを一気通貫でサポート

# プラットフォーム事業

## 1 特徴と優位性

### 02 オールインワン型プラットフォーム「MY HEROIC」により、社員家族顧客の超高齢者社会特有の悩みをサポート

#### 最新のテクノロジーと 専門資格者企業との複合

専門資格者による人的サービスに  
最新のテクノロジーを複合し  
利用者の利便性を重視した設計。

#### HEROIC独自のサービス

提携専門資格者・企業が通常業務として行わない  
サービスをHEROICのみに扱うサービスとして  
強力な開発体制を構築し提供。

#### 超高齢社会課題に特化

福利厚生、カスタマーリテンションの  
スタンダードサービスにはない超高齢社会の  
ニーズに特化したプラットフォームを提供。

企業の課題であるサステナビリティ、ESG  
人的資本向上へ繋がるウェルビーイングアップ  
プログラム提供。

### 03 各分野の専門家が集った多様性のあるチーム

General trading company

Lawyer

Finance

General security company

Doctor

Care

# ソーシャルプロダクト事業

ソーシャルストラクチャーが目指す社会課題の解決

超高齢社会課題の領域で複数のプロダクト。ソーシャルインパクトを創出。

## 任意後見制度の利用促進

任意後見人選任・任意代理契約濫用防止・医師の関与・任意後見事務遂行上の金融機関との取引問題をヒロイックのセグメント間のシナジー効果とパーソナルデータ分散管理技術を活用し、任意後見制度の利用促進を図る。

## 身元保証制度の変革

身元保証人という「ヒト」が属人的に包括的に保証するシステムを既存サービスの健全化、信用力判定・意思表示の基盤整備  
身元保証人の役割に応じた仕組みづくりをビジネスブロックチェーンで変革を行う。

# ボードメンバー

経験豊富な経営陣と各分野の精鋭が集う多様なチーム



取締役会長 永井峻一

東京大学法学部卒業。1969年三菱商事入社。2002年同社執行役員北海道支社長。2006年サウディ石油化学(株)代表取締役社長。現在、(公益)シニア総合サポートセンター理事。



代表取締役 野口慶太

認定司法書士。東京司法書士会会員。司法書士古田・野口事務所代表。現在、都市銀行東京本店・法人営業部、上場企業等専属特定司法書士。機関投資家等法務顧問就任中。



専務取締役 滝澤維世嗣

1983年慶應義塾大学経済学部卒業。日本債券信用銀行（現あおぞら銀行）入行。現在、風月堂（株）代表取締役社長、全日本大学バレーボール連盟常任理事、慶應義塾連合三田会常議員、東京銀座ロータリークラブ会員。



常務取締役 池永威彦

1969年日興証券（株）（現、SMBC日興証券（株））入社。2001年常務取締役。元、千葉大学特任教授、（株）エクサウィザーズ監査役。現在（株）キーラック代表取締役社長ほか多数役員・顧問就任中。



# ボードメンバー

## 経験豊富な経営陣と各分野の精鋭が集う多様なチーム



代表監査委員 高瀬義昌

信州大学医学部卒業。東京医科大学大学院修了。医学博士。昭和大学客員教授。2004年たかせクリニック開業。現在、日本プライマリ・ケア連合学会認定医、日本老年精神学会専門医、認知症サポート医、東京都認知症対策推進会議 認知症医療部会委員、厚生労働省高齢者医薬品適正使用ガイドライン作成ワーキンググループ構成員、ITヘルスケア学会副代表、在宅医療政治連盟副会長、未来研究所臥龍理事。



特別監査委員 小林美亜

ニューヨーク大学大学院博士課程修了、学術博士。聖路加看護大学（現、聖路加国際大学）卒業後、看護師、助産師として臨床に従事。慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室助手、New York Universityリサーチフェロー、New York University John A. Hartford Center for Geriatric Nursingポリシーインターン。東京大学医学部附属病院国立大学病院データベースセンター副センター長、国立病院機構本部診療情報分析部主任研究員。千葉大学大学院看護学研究科准教授、千葉大学医学部附属病院 医療の質向上本部地域医療連携部特命病院教授。現在、山梨大学大学院総合研究部特任教授、日本クリニカルパス学会副代表理事。



監査役 原大二郎

弁護士。中小企業庁経営革新等支援機関認定。事業再生実務家協会会員。中小企業の事業再生等に関するガイドラインに定める第三者支援専門家。ライジング法律事務所パートナー。2006年第一東京弁護士会登録（第59期）。同年弘中総合法律事務所入所。2009年清水直法律事務所入所。現在、2015年ライジング法律事務所開設。東証グロース上場企業ほか多数の役員・顧問就任中。

# 会社概要

|      |                                                 |
|------|-------------------------------------------------|
| 会社名  | 株式会社 HEROIC (ヒロイック)                             |
| 本店   | 東京都中央区日本橋小網町13番8号 安田小網町ビル202<br>(司法書士古田・野口事務所内) |
| 設立   | 2020年4月                                         |
| 事業内容 | 福利厚生・カスタマーリテンションサービス<br>ソーシャルプロダクト提供            |
| 代表   | 代表取締役社長 野口慶太                                    |
| TEL  | 03(3664)8931(代表)                                |
| MAIL | info@heroic.co.jp                               |
| HP   | http://heroic.co.jp                             |



